

令和7年度 第6回理事会

日時：令和7年11月25日（火）：19：00～

場所：Zoom（オンライン）

参加者：理事（磯野、高村、小林、有泉、井村、大西、平賀、鮎川、渡邊、古屋、菊池、鈴木、上田、山下）
部長（原、丸茂、小林）

欠席者：

慶事： 0件 弔事： 1件

施設数：187施設

会員数：932人 【施設会員886人/在宅会員46人】

休会員数：217人（11月23日現在23.0%）

【審議事項】

1. 富士東部支部主催症例検討会の開催日程について：士会支部局
2. 第26回 地域理学療法研修会開催につきまして：業務推進局
3. ポケットWi-Fiについて：事務管理局
4. 第81回 スポーツ理学療法勉強会について
5. 山梨がんフォーラムのボランティアスタッフへの日当支給について：がんリハビリ推進委員会
6. 第2回山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会開催について：がんリハビリ推進委員会

【報告事項】

1. 中間監査報告：監事
2. 理学療法部門責任者および若手を対象とした情報交換会の開催内容説明
3. 令和7年度 山梨県理学療法士会交流会の報告：事務管理局
4. 第三回身体の特化スペシャリストと学ぶ親子『カラダ』ワークショップ：広報局
5. 2025年度第3回学術研修会開催報告：学術研修部
6. 関東甲信越ブロック 働きやすい職場創り検討委員会出席についての報告：ワークライフバランス部
7. 第24回歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー山梨大会 参加報告：糖尿病対策推進委員会
8. 令和7年度山梨県地震防災訓練第2回関係者会議参加報告：災害対策支援委員会
9. 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会報告
山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 研修会報告：災害対策支援委員会
10. 令和7年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 第2回会議報告：
がんリハビリ推進委員会

【事務管理局より】

- ・次年度の事業計画を予算の検討に入りたいと思います。準備ができましたら、LINEWORKSで案内をさせていただきます。
- ・協会との意見交換会について：斉藤協会長との士会組織運営についての意見交換会の開催日を12月9日（火曜日）、会場は事務所。

令和7年度中間監査報告

監 事 齋 藤 智 雄

監 事 谷 村 英四郎

令和7年度中間の事業報告、計算書類、これらの附属明細書の監査について報告します。

- (1) 各局の事業報告、計算書類、附属明細書について、当法人の状況を正しく表示され、不正の行為、法令若しくは定款に違反する事実はありませんでした。
- (2) 県・市町村からの委託事業については、項目を設け標記して頂きたい。
- (3) 次年度以降の会計士への委託について検討頂きたい。
- (4) LINE 公式アカウントを用いた情報伝達の検討等、ICT 化が図られており高く評価します。
- (5) 新人教育研修部担当の登録理学療法士前期研修は、WEB 開催ではあるが、参加者人数がやや少ないので、検討の余地があるのではないか。
- (6) 第44回関東甲信越ブロック理学療法士学会の準備と同協議会創立50周年記念誌作成に携わった委員各位には敬意を表します。
- (7) スポーツ理学療法部部長の任期途中の交代については、円滑に活動が継続できることを期待致します。

以上

【 審 議 】

提出者	平賀 篤	部局名	士会支部局
議 題	富士東部支部主催症例検討会の開催日程について		
内 容 および 提出趣旨	富士東部支部主催症例検討会について、以下日程を検討しております。 <富士東部支部> 第1回：2026年3月6日（金）19時～20時（発表登録締切：2026年1月15日） 提出資料 無 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	1日最大2演題までとし、演題応募がない場合は非開催とする予定です。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 審 議 】

案件番号 2025- -

提出者	原 啓太	部局名	業務推進局 地域包括ケア推進部
議 題	第26回 地域理学療法研修会開催につきまして		
内 容 および 提出趣旨	第26回地域理学療法研修会ついて以下の通り開催を提案します。 日時：2026年1月23日（金） 19：00～20：30 開催方式：対面による講義、グループワーク テーマ：「地域づくりのコンセプトについて」（仮） 講師：医療法人銀門会 甲州ケアホーム 作業療法士 保坂 和輝先生 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	本研修を通じて士会員の地域づくりに関わる興味・関心を高め、知見を深めることができると考えております。 保坂先生は地域リハビリテーションに10年以上に渡って関り、機能訓練事業、介護予防教室、個別相談事業等、多彩な経験を有されています。本テーマによる研修会において、適任と考えております。 参加費については1,000円とします。謝礼については規定に則り30,000円とします。会場については山梨県立大学池田キャンパス101講堂を想定し、120名定員・使用料9,200円（駐車場込み）となります。ご検討の程、よろしくお願いします。 提出資料 有 別紙1枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		

	処理期間 令和 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)

【 審 議 】

提出者	藤原大輔	部局名	事務管理局
議 題	ポケット Wi-Fi について		
内 容 および 提出趣旨	①当士会でポケット Wi-Fi を 9 台契約中、年間 517,524 円の費用が掛かっている。 運用については一部使用しているが、使用頻度が少ないため見直しをしていきたい。 ②通信費の費用弁償について		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	①ポケット Wi-Fi の解約について 解約：7 台解約、2 台契約を継続（年間約 11 万円の費用、約 40 万円の削減）。 管理：事務管理局で備品として管理する（もう一台は事務所管理にするか）。 使用目的：士会事業で、会場にて通信環境がない場合にポケット Wi-Fi を使用する。 貸出・返却：LINEWORKS のカレンダー「設備予約」で予約する。 事務管理局で受け取り、使用後に返却する。 ・現状の状況から解約、管理について審議をお願いします。		
	②通信費の費用弁償 対象用途：ZOOM など WEB 会議（理事会、三役会、各部・委員会の会議）の通信費 算出基準：ZOOM で 1 時間の使用データ量を約 0.5 ギガと想定 0.5 ギガ＝100 円（ワイモバイル 20 ギガ 4000 円を参考に算出） 費用弁償額：会議 1 時間につき 100 円を会議費に別途上乗せして支給 1 時間以降は 30 分ごとに、30 分未満は切り捨て、30 分以上は切り上げ 上限 1000 円/月 ・通信費の費用弁償について可否についてご意見をいただきたい。 ・費用弁償する際に、どこまでを対象とするかご意見をいただきたい。		
	提出資料	有	別紙 1 枚 資料番号等
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ）		賛否（ 賛成 反対 ）
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 審 議 】

提出者	森田 伸哉	部局名	スポーツ理学療法部
議 題	第 81 回 スポーツ理学療法勉強会について		
内 容 および 提出趣旨	第 81 回スポーツ理学療法勉強会を下記内容にて開催を企画しました 日程：2026 年 2 月 3 日(火) 19 時～21 時 会場：市立甲府病院 第 2 会議室 講師：酒井医療株式会社 リハビリテーション推進部 フィジオプロモーション部長代理 高橋 智士 先生 テーマ：「物理療法について～電気刺激療法を中心に～」 対象：山梨県理学療法士会会員 (定員 40 名) 受講費用：1000 円 提出資料 無 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	本勉強会を対面形式にて開催したい。 講師に酒井医療株式会社 リハビリテーション推進部フィジオプロモーション部長代理 高橋 智士 先生に依頼した。以前、高橋先生には部内勉強会でも講義頂き、スポーツ現場、臨床で参考になる内容の話を聞いた。 会場の大きさ、研修内容から考え、定員を 40 名とした。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議 (終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託) 賛否 (賛成 反対)		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 審 議 】

案件番号 2025- -

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	山梨がんフォーラムのボランティアスタッフへの日当支給について		
内 容 および 提出趣旨	<活動概要> ・ 標記イベントにおいて、フレイル・サルコペニアチェック・リンパ浮腫などのがんのリハビリテーションに関する相談ブース設置を予定している。こちらの運営に際し、受付、誘導、検査補助を担っていただく人員に対し、有償ボランティアとして日当支給を行いたい。 ・ 日時：2025. 12. 21 (日) 10 : 30—13 : 30 * 予定変更の可能性あり ・ 場所：山梨県立図書館 【当日スケジュール (昨年と同様の日程を想定)】 10 : 30 会場集合、設営準備 12 : 00 ワークショップ開始 13 : 30 講演 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		

提出者の意見	県士会員へ向けて協力者を募り、日当を支給したいと考えております。 金額は、一般社団法人山梨県理学療法士会旅費規定第六条 3 項（4 時間以内では 2,000 円・4 時間を超える（1 日）では 4,000 円）を適応したく存じます。 休日開催であるため、委員会（3 名）のスタッフ配置では継続困難となることが懸念されます。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了・継続・保留・付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長・委員長・代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 審 議 】

案件番号 2025-

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	第 2 回山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会開催について		
内 容 および 提出趣旨	・ 令和 8 年 2 月 24 日（火） 開始 19：00 ～ 終了 20：30 ・ 開催形式：オンライン（Zoom アプリケーションを使用） ・ テーマ：リンパ浮腫に対する理学療法 ・ 講師：上田 亨 先生（リムズ徳島クリニック 理学療法士） ・ 内容：リンパ浮腫治療における理学療法士視点、実際の症例に基づいた実践的アプローチ、早期発見の視点、他疾患との鑑別（いろいろな浮腫との見分け）について ・ 対象者： 理学療法士会員、非会員、学生など ・ 参加費： 山梨県士会員 1,000 円（JPTA アプリを使用） 他都道府県士会員 2,000 円 非会員（休会を含む）5,000 円 学生無料 提出資料 ☐ 無・有		
提出者の意見	・ 開催の承認、理学療法士協会アプリの使用、並びにカリキュラムコード 区分 9－1 1 6「がんのリハビリテーション」での申請をお願いします。 提出資料 ☐ 無・有 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（ 部長・委員長・代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 報 告 】

案件番号 2025- -

提出者	高村浩司、平賀篤	部局名	
議 題	理学療法部門責任者および若手を対象とした情報交換会の開催内容説明		
内 容 および 提出趣旨	<概要> 日時：2025. 12. 4（木）19 時～20 時半 場所：健康科学大学 桂川キャンパス 詳細は別紙参照 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	理事の先生方には担当事業の説明とグループワーク時のファシリテートをお願いしたいと 存じます。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

別紙 1

2025 年度管理者・若手合同情報交換会 事前説明資料

1. スケジュール

<開催概要>

日時：2025 年 12 月 4 日（木）19 時 00 分～20 時 30 分

場所：健康科学大学 桂川キャンパス ※使用教室調整中

<当日のタイムスケジュール>

18 時 00 分：担当者集合 準備開始

18 時 30 分：受付開始

19 時 00 分：情報交換会開始

19 時 05 分：事業説明

19 時 25 分：情報交換①

19 時 55 分：情報交換②

20 時 25 分：全体質疑応答

20 時 30 分：終了、片付け

21 時 00 分：撤収

2. 企画詳細

<事業説明：20 分間>

県士会の事業について総会での説明順にて説明する

 ①会長 ②組織担当副会長 ③組織関連局長 ④学術担当副会長 ⑤学術関連局長 ⑥職能担当副会長
 ⑦職能関連局長 ⑧常設委員会担当副会長 ⑨常設委員会関連局長 ⑩山梨県理学療法士連盟

<情報交換①管理者・若手合同 GW：30 分>

情報交換テーマ：①管理者―若い時に困ったことや失敗談（アイスブレイク）

②若手―困った事例の話題提供（臨床、管理、人間関係などなんでも OK）

<情報交換②管理者・若手別 GW：30 分>

情報交換テーマ：①協会・士会・連盟に求めることはなにか？

②支部規模でどんなことがしたいか？

参加者

- ・参加者数：25名（10施設→管理者7名、若手18名）+理事11名
- ・グループ数：5 1グループあたり5名構成を標準

	施設数	責任者数	若手数	合計人数
中西部	8	5	13	18
富士東部	2	2	5	7
合計	10	7	18	25

3. 理事への依頼内容

- ・事業説明
- ・GW時のファシリテーター

No	所属施設名	参加氏名	出席	情報交換①	情報交換②
1	山梨リハビリテーション病院	菊池信		G3	G2
2	韮崎市立病院	古屋 伴仁		G2	G3
3	湯村温泉病院	鈴木聡		G4	G1
4	石和温泉病院	小林 司		G1	G3
5	恵信リハビリテーション病院	上田修		G1	G1
6	山梨県立あけぼの医療福祉センター	有泉静佳		なし	G4
7	甲州リハビリテーション病院	磯野 賢		なし	G5
8	健康科学大学	高村 浩司		なし	G1
9	恵信甲府病院	井村順治		G2	G2
10	帝京科学大学	渡邊修司		G5	G4
11	帝京科学大学	平賀篤		なし	G5
計	11	11			

G1:管理者1
G2:管理者2
G3:若手1
G4:若手2
G5:若手3

【 報 告 】 案件番号 2022- -

提出者	藤原大輔	部局名	事務管理局 総務部
議 題	令和7年度 山梨県理学療法士会交流会の報告		
内 容 および 提出趣旨	1. 日 時：令和7年10月29日（水）19時00分～21時00分 2. 場 所：ネオス・ミラベル 3. 会 費：一般会員6,000円 新入会員4,000円 4. 参加者数および施設数 参加者数：122名（一般会員96名、新入会員29名） 当日欠席3名 施設数：21施設 5. 決算 収入：参加費692,000円 内訳 一般：6000円×96名＝576,000円 新人：4000円×29名＝116,000円 支出：料理など750,000円 内訳 6000円×125名＝750,000 収支合計：▲58,000円（予算で新人2000円×29名分の58,000円分計上） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		

提出者の意見	【申し込み】 ・今年度は、Google form を使用して参加申し込みを行った。 ・参加についてまとめたの申し込みの案内が不足しており、メールにて再度案内をした。 【受付】 ・2 名体制で実施、参加費もすべての施設でまとめてお支払いいただいた。 【料理・飲み物】 ・buffet形式で、最終的には余っていたものもあり十分足りていたと思われる。 【進行】 ・滞りなく進行で来ていた。施設紹介も盛り上がりみんなで温かく見守っていた印象。 【その他】 ・会場は今回の人数、テーブル 7～8 名の人数で通路も余裕があった。 ・施設で相席になることもあったが、それぞれ交流できていたのではないかと思います。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	
結果	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)

【 報 告 】 案件番号 2025-事広-2

提出者	大西 健太	部局名	事務管理局 広報部
議 題	第三回身体の特シャリストと学ぶ親子『カラダ』ワークショップ		
内 容 および 提出趣旨	理学療法士のお仕事説明・ライフキネティック・走り方教室・栄養（弁当実食）・現役選手の身体の話・プロスポーツ現場の見学・アップ見学・スタジアム周回（広報） 日時：2025 年 11 月 2 日（日） 9：00～15：00 講師：長田・小椋・伊東・山田・井上選手（ヴァンフォーレ） 有泉・小林・大西正・大西健・呉屋・宇月・高橋・石田（山梨県理学療法士会） 会場：小瀬補助競技場・JIT リサイクルインクスタジアム ・小瀬武道館 対象：小学 1 年～6 年生の親子 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	上記テーマでイベントを実施致しました。今回は事前にチラシを各会員施設に配布、また理学療法士の交流会においても配布し、広報を行いました。参加者は前回参加していない親子 60 名 (30 組) が参加しました (総申込は 42 組)。県士会から 7 組の親子が参加していました。現場では大変ポジティブな意見が多く聞かれました。プロ選手の身体の話、それに関わる理学療法士など、多くの方に理学療法士の働きをお伝えできたかと思います。スタッフ公募も実施し、7 名申し込みがあり、2 名参加しています。 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 報 告 】

案件番号 2025 -

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 3 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	第 3 回学術研修会 日程：2025 年 10 月 26 日(日)10:00～16:00（休憩 1 時間を含む） 会場：健康科学大学（対面形式） 講師：山本 泰三先生（株式会社スターティングアゲイン 代表取締役） テーマ： 片麻痺の基礎を再考し、バランス障害を含めた残存能力を探る評価と発揮させる手法 受講費用：県士会員 1000 円、県外会員・非会員 2000 円、学生無料 参加者：26 名（県士会員 19 名、非会員 7 名） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	2025 年度第 3 回学術研修会は「片麻痺の基礎を再考し、バランス障害を含めた残存能力を探る評価と発揮させる手法」をテーマとして、株式会社スターティングアゲイン 代表取締役 山本 泰三先生にご講演いただいた。今回の研修会は、片麻痺の回復メカニズム、筋緊張異常、共同運動および連合反応の評価方法について基礎的な学習と、片麻痺症例におけるバランス機能や四肢随意性の潜在化された能力を発揮するための評価方法、その能力を発揮させるための体幹機能を高めるための手法について実技を交えてご教授いただいた。先生の経験知とともに、先行研究のデータを踏まえて大変理解しやすく、実際の臨床場面に生かせる内容であり、先生の長年培われてきた臨床観を学ぶことができた大変有意義な研修会となった。また、事務局に関して、事前準備から講習会終了まで滞りなく運営を行った。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 報 告 】

案件番号 2025

提出者	松野奈美	部局名	ワークライフバランス部
議 題	関東甲信越ブロック 働きやすい職場創り検討委員会出席についての報告		
内 容 および 提出趣旨	令和 7 年 1 1 月 1 6 日に、第 4 4 回 関東甲信越ブロック理学療法士学会内で行われた、働きやすい職場創り検討委員会に参加した。会議にて部の取り組みについて報告し、ワークライフバランスという分野を管轄する部・委員会がはっきりと確立されていない士会もある中で、山梨県士会の委員会・部の研修会等の取り組みについては評価をいただいた。意見交換の中で、働きやすい職場創り委員会の頃の研修会について、ZOOM にて 3 0 0 人～6 0 0 人規模の研修会が開ける人員と ZOOM 等のスペック・研修会の広報の仕方についての質問や、今後関東甲信越ブロック内の他の士会の研修会時に、ZOOM のアカウントの借用や、共同で実施することが可能かとの意見があった。確認し、後日報告することとなった。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		

提出者の意見	・働きやすい職場創り委員会時代の研修会の際、広報の方法・対応した人員はどうであったか。(湯村温泉病院、藤田先生にも確認し、情報収集予定。) ・今後、関東甲信越ブロック働きやすい職場創り検討委員会の他の士会と共同で研修会が可能であるか。またその際、山梨県士会の ZOOM アカウントを使用可能か。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等
主な意見内容など	
結果	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)

【 報 告 】

案件番号 2025- -

提出者	藤田 理恵	部局名	糖尿病対策推進委員会
議 題	第 24 回歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー山梨大会 参加報告		
内 容 および 提出趣旨	日 時：令和 7 年 10 月 19 日（日）9：00-14：00 場 所：山梨県笛吹川フルーツ公園 内 容：共催：山梨糖尿病協会、日本糖尿病協会、山梨県糖尿病対策推進委員会 NPO 法人山梨糖尿病研究会、山梨大学医学部附属病院糖尿病内分泌科 ノボノルディスクファーマー株式会社 チームに分かれ、フルーツ公園内を約 1 時間かけて歩く、途中ポイントでクイズやゲームあり楽しみながらウーキングを楽しむ。その中応援医療スタッフとして参加各グループに同行し体調不良等の一次対応と大会本部への連絡する係、日頃の治療や療養の相談なども行った。 参加者：糖尿病の方とその家族：24 名 応援医療スタッフ：16 名 (PT 士会 3 名、医師 4 名、その他看護師、検査技師、薬剤師等)   提出資料 無		
提出者の意見	山梨県糖尿病推進会議の委員長はじめ、山梨の糖尿病患者を支える医療職がスタッフとして参加しており、現在の PT 士会での活動状況などを共有できる良い機会となりました。実際のウォークラリー中は、1 型糖尿病子供の祖母祖父叔母などが参加され、実際血糖測定を経験し、孫の日常の大変さを知る機会となったと話されていた。また祖母として関わり方などの不安を話してくれ、それに医療職がしっかりと対応する場面もあり、双方にとって良い機会であったと感じました。また、県士会のホームページやメールにて、2 名の県士会員が参加されており、主催者より感謝の言葉をいただきました。会長や事務局の対応に感謝いたします。 提出資料		

主な意見内容 など	
結果	
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)

【 報 告 】

案件番号 2025-11-

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和 7 年度山梨県地震防災訓練第 2 回関係者会議参加報告		
内 容 および 提出趣旨	日時：令和 7 年 10 月 27 日（月）13:30～15:30 会場：甲州市勝沼市民会館（全体会議）、勝沼防災センター（個別会議） 参加：PT 士会：大野 OT 士会：磯野先生（春日居総合リハ） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	令和 7 年 10 月 27（月）に甲州市勝沼市民会館にて行われた、令和 7 年度第 2 回山梨県地震 防災訓練関係者会議に参加。全体会議では当日の訓練概要や訓練全体の流れの確認、個別 会議では福祉避難所訓練に参加する山梨 J R A T、山梨県看護協会（災害支援 Ns.）、山梨 県栄養士会、担当する市の職員と打ち合わせを実施。訓練当日、山梨 J R A T は、訓練参加 者に車椅子の使用方法、要配慮者を移送する際の注意点等アドバイスや、福祉避難所でダ ンボールベッドやパーテンションの設置訓練実施後、被災地支援での J R A T の役割やリ ハトリージ、ダンボールベッド・車椅子間の移乗方法を参加者（区長や市の職員、ボラン ティアスタッフ）に講演行う予定。 訓練は令和 7 年 11 月 23 日（日）甲州市勝沼中学校や周辺施設で実施される。P T 士会か ら井村先生、中山先生、伊藤先生、大野の 4 名で参加予定。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	① 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会報告 ② 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 研修会報告		
内 容 および 提出趣旨	山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会 日時：令和 7 年 10 月 31 日（金）19:00～21:00 会場：山梨県立中央病院 2 階 多目的ホール 講師：山梨県防災局防災危機管理課 課長補佐 池田宏治氏 内容：避難所運営ゲーム（HUG） 後援：山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会。 参加：20 名（委員含む）内訳 PT 士会：6 名 OT 士会：6 名 ST 士会 8 名 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 研修会 日時：令和 7 年 11 月 6 日（木）19:00～20:30 会場：山梨県立文学館講堂 講師：菊池尚久先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター・センター長） テーマ：「災害リハビリテーションと地域リハビリテーションの繋がり」 参加：54 名 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	① 令和 7 年 10 月 31 日（金）、山梨県立中央病院 2 階多目的ホールにて避難所運営ゲーム（HUG）を実施。講師は山梨県防災局防災危機管理課の池田宏治氏。HUG は、ファシリテーター進行のもと、避難所設営・避難者の受け入れ・避難所のゾーニング等を、カード（避難者や物資、イベントなど記載）を使用して机上で避難所を運営していくゲームです。状況が目まぐるしく変化していく中で避難者の対応や、課題の整理をしなければいけないため、実際に避難所に人が押し寄せてきたらこうゆう状況になるのだと研修を通して実感、体感できます。グループによって避難所での配置や振り分けも変わるので参加するたびに新たな発見もあります。 今後も HUG 研修会は継続していきますので、士会員の先生方の参加を呼び掛けたいと思います。 ② 令和 7 年 11 月 6 日（木）、山梨県立文学館にて山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の研修会が行われました。講師は千葉リハビリテーションセンター・センター長の菊池尚久先生で、災害リハビリテーションと地域リハビリテーションの繋がりをテーマに、熊本地震や能登半島地震での災害支援や千葉 J R A T の組織体制、BCP マニュアルについてご講演していただきました。J R A T での支援活動でも B C P マニュアルの必要性、普段、通所リハや訪問リハを利用されていた方を避難所で平時のように介入するための課題や平時からの人材育成の必要性を知ることが出来ました。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 1. 令和7年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 第2回会議報告 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
内 容 および 提出趣旨	提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見 内容など	1. がんリハビリテーション推進委員会第2回会議報告 開催日時：10月28日19：30～20：30（オンライン） 参加者：山田、宮下、中島、上田 1）第2回山梨県理学療法士会がんリハビリテーション研修会 テーマ：リンパ浮腫の理学療法 講師候補：リムズ徳島の上田亨先生 開催時期：研修会の日程候補日：2月10日、17日、24日 内容： - リンパ浮腫治療の理学療法士視点 - 日常臨床での見過ごしやすい症例の見分け方 - 実際の症例に基づいた実践的アプローチ - 早期発見の視点、他疾患との鑑別（いろいろな浮腫との見分け） 12月か1月の会議で講師も同席いただいて内容をつめる 準備 PT協会ポイント申請／フライヤーを作成（担当：中島PT）講師の写真を入れてアピールする。メーリング、ホームページ、SNSで広報を展開する。11月理事会の審議事項として提案する。 2）12月21日 がんフォーラム山梨準備 フレイル・サルコペニア評価を実施。握力、周径（浮腫を検出する）、in body 弾性包帯のサンプル展示をナック商会へ依頼。物品のみ借用も含めて依頼時に相談。 フレイルのパンフレットを準備する。県士会へボランティア募集をかける。（早急に） 「がん」のハンドブックを広報部へ依頼して取り寄せる。士会の旗とビブスなど広報グッズも用意する。スタッフ用名札を準備する。		
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		